

2024年の「東アジア文化都市」に大連市が選ばれました！

9月20日、大連市が2024年の「東アジア文化都市」に選定されました。大連市では今後、日本・中国・韓国の文化交流や観光イベントが開催される予定です。

◆東アジア文化都市とは

日本・中国・韓国3か国の文化大臣による合意に基づいて、文化芸術により発展を目指す都市が選定され、選定都市で現代の芸術文化や伝統文化等のイベントが開催されます。2013年に発足して以来、日中韓31の都市が東アジア文化都市に選定されています。

◆選定された都市の活動内容 (2021年北九州市)

北九州市では、地元企業を中心に多数のパートナー企業を選定し、インバウンド需要の取込みに向けた「小倉城周辺再開発」といった地域のインフラ整備を進めてきたほか、国際映画祭や音楽祭等の214のイベントを開催するなど、地域を挙げて文化活動を推進してきました。

また官営八幡製鉄所の跡地をイベント開催地として活用するなどSDGsへの取り組みについてもPRを行った結果、コロナ禍ではありましたが、国内外からのイベント参加者は164万人に達し、地元経済への波及効果が16億円にも及びました。（「東アジア文化都市北九州事業報告書」より）

◆大連市の選定理由

大連市では、2021年8月に東アジア文化都市の候補都市に選定されてから多くのインフラ整備や文化交流を実施してきました。インフラ整備では、路面電車通りの景観整備などを実施したほか、文化交流では、大連の世界音楽文化博物館で宮崎駿監督の映画作品や映画の中に登場する久石譲氏の音楽作品に関する展覧会などが開催されました。実際に、大連市に居住している私も外国人から見た大連の魅力を発信するイベントなどへ参加し当地のPRを行いました。こうした活動が評価され、中国国内の候補10都市の中から、東アジア文化都市として選定されました。

◆今後の大連市の活動

今後大連市は、日・韓の選定都市と連携のうえ文化芸術に関するイベント等を実施し、東アジア域内の相互理解・連携を促進するとともに、域内外への観光プロモーションにより観光振興にも取り組みます。過去には、中・韓の選定都市の旅行会社が日本各地への旅行商品を作りインバウンド増加に繋がった事例があるなど、選定都市以外の地域への経済効果も期待されます。大連市は、青森県や秋田県と友好都市であるほか、岩手県と経済協定を締結しているなど、日本の東北地方と繋がりのある都市でもあり、今後、東北地方へのインバウンドが回復することを期待します。

(中国・大連駐在(宮城県大連事務所出向) 村田 篤俊)



大連市主催のPR活動の様子
(右端が私です)

【お問合せ先】

七十七銀行 市場国際部 アジアビジネス支援室
TEL.022-211-9880

【Global Letter NEXT ホームページ】

その他の記事はこちらからご覧ください。

https://www.77bank.co.jp/kokusai/globalletter_next/

本紙記載の内容につきましては、当行が信頼できると考える情報に基づき作成しておりますが、その正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談いただくようお願い申し上げます。